

山口和之さんの
いきいき
Interview vol.10
好評連載中!
企業探訪



日本はもっと
強くなれる
優しくなれる

山口 和之

(やまくち・かずゆき)

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。

山口 今回の「みんなのデパート」夢のデパートのCM

として歩み続けています。

でお馴染みのうすい百貨店さんにお邪魔しています。まずは

山口 館内のリニューアルを進めていますね。

企業理念などについて横江良司社長にお伺いします。

横江 現在の建物オープンした1999年以来、24年ぶりです。昨年から来年の年明けまでおおよそ1年半、順次

横江 1662年に初代・薄井小七郎が現在の郡山市中町に移住し、物産問屋を始めました。今年で創業363年を数えます。企業理念は「わたしたちは地域に根ざし、地域と共に繁栄し、地域に貢献します」で、福島県唯一の百貨店

が進めます。コンセプトは「働く女性と地元3世代ファミリーが夢と幸せを感じる店」で、ポイント①豊かで上質なライフスタイル提案型のショッパの導入②化粧品強化③食品強化④地域の皆様がつるげ



代表取締役社長
横江 良司 氏
よしかし りょうじ

(株)うすい百貨店

郡山市中町13番1号
TEL.024-932-0001
https://www.usui-dept.co.jp



リニューアルした化粧品売場

24年ぶりのリニューアルで化粧品や食品を強化
物産展開催で旅せず全国各地の名産品を満喫

2つ目は、食品の中でも特にスイーツや総菜の好調、何より各地のブランド商品の人気の高さです。日本全国を旅せずに、ご当地の名産品が一堂に会する物産展は、お客様にとって新鮮で楽しい、興味を

るスペースをアトリウムとして新設の4点です。
山口 日本各地の物産展を積極的に開催しています。
横江 物産展強化には2つの理由があります。1つ目はアパレル(衣料品)の不振と食品(特にスイーツ)の好調です。アパレルは若年層を中心に、買うのではなくリユース(中古品)やサブスク(定額レンタル)で衣服を着用するのが主流となり、大きく売上を落としています。一方、食品は日々の生活の高度化と多様化、健康志向の広がりとともに、高級食材や美と健康に良い影響を与える食材などが好調を継続しています。

抱く面白い催し物であり、これを強化しない手はありません。年3回開催の北海道展がいちばん喜ばれています。
山口 通販やネットショッピングに対抗する手段は。
横江 大手と違って我々のような地方の百貨店が単独・自前で通販などをやるには身の丈を超えたシステム投資やITに長けた人材が必要で、あまり現実的ではありません。

横江 時代と環境の変化を受け、百貨店業態に固辞せず、地域の皆様に支持され、地域に貢献できる県民百貨店であり続けたいです。少子高齢化の中、首都圏や仙台圏との都市間競争を生き抜くためには、中心市街地の活性化は喫緊の課題と感じており、関係者の皆様と一緒にまちづくりを進めていきたいと思えます。
山口 交流人口増加に必要な中心市街地や駅前の活性化はうすい百貨店さんにかかっていると言っても過言ではありません。期待しています!



アトリウムで笑顔を見せる横江社長と山口さん

お聞かせください。
横江 今後の夢やビジョンを

山口 今後の夢やビジョンをお聞かせください。

山口 働き方改革や社員の福利厚生などはいかがですか。
横江 育児・介護短時間勤務や70歳まで雇用延長、管理職全員にスマートフォン貸与、また昨年より新たに導入した年間7日間の店舗一斉休業日など、様々な施策を導入していますが、生産性向上に寄与するところまでは見えておらず、課題は残っています。

山口 今後の夢やビジョンをお聞かせください。